

資料 島田市環境報告書に寄せられた意見と回答

第2次島田市環境基本計画において、公表した島田市環境報告書については、意見を募集しそれに対する回答を次年度の島田市環境報告書に掲載することとされています。平成26年度より作成しました環境報告書に対するご意見やご質問に対する回答や説明を下記のとおり掲載します。

意見1

島田市では、古布類の回収を実施しておりますが、回収量の拡大を図る計画はありますか。

回答1

回収量を増やすために、拠点回収場所の増設を計画しております。

意見2

耕作放棄地の畑部分には、茶畑も含まれていますか。

回答2

耕作放棄地の畑のほとんどが茶畑です。

意見3

島田市におけるPM2.5の観測はどのようになっていますか。

回答3

環境省が平成20年に島田市役所の敷地内に測定機を設置し、平成25年に静岡県に移管されました。それからは静岡県のホームページ内の「静岡県大気汚染常時観測システム」にて常時データを見ることができるようになっています。

意見4

島田市における環境放射線の測定はどのようになっていますか。

回答4

環境放射線の現在の状況等は、「静岡県環境放射線監視センター」のホームページ内にて常時データを見ることができるようになっています。

意見5

田代環境プラザ周辺には、再生可能エネルギーの発電設備がいくつかあるが、発電量などはどの程度ありますか。

回答5

太陽光発電である「ソーラーパークしまだ」は発電出力が1,500kW、田代環境プラザでは廃棄物発電（一部バイオマス発電）で1,990kW、伊太の小水力発電は893kWとなっております。再生可能エネルギーの集積地として注目されています。環境報告書への記載については、新たな項目の作成となりますので工夫して掲載できるように検討をしております。

意見6

田代環境プラザの発電出力は1,990kWと大きいですが、発電した電力はどのように使用されていますか。

回答6

田代環境プラザには溶融炉が2炉あり、2炉運転している際には田代環境プラザの電力を賄うとともに、余剰分については売電しています。ただし、1炉運転の際には電力が足りなくなるので購入をしています。

意見7

ノーカーデーはどのように実施をしているか。他の民間事業者へ展開していくことは考えていますか。

回答7

毎月第3週目をノーカーデーウィークとして、年12回実施をしています。普段の通勤で車やバイクなどを行っている職員が、公共交通機関や相乗り、自転車、徒歩で出勤するように呼びかけております。他の民間事業者への周知ですが、事業者の負担にならないように呼掛けを実施していくか検討課題としていきます。

意見8

島田市における部門別二酸化炭素排出量について、島田市役所の二酸化炭素排出量はどの部分に入りますか。

回答8

市役所の事務部門は民生・業務部門、田代環境プラザは廃棄物処理部門に入っています。